

【設問】

問 1-5 あなたは、**肝炎患者として**、「1.日常生活」や「2.学校生活」、「3.職業生活」において不安を感じていますか。（○はヨコの行にひとつずつ）

	大変不安を感じている	多少は不安を感じている	どちらともいえない	あまり不安を感じていない	全く不安を感じていない	あてはまらない
1. 日常生活	1	2	3	4	5	6
2. 学校生活	1	2	3	4	5	6
3. 職業生活	1	2	3	4	5	6

【集計表】

			Q1_5(1) 不安_日常生活					合計
			大変不安	多少不安	中庸	不安殆無	不安全無	
ルート	患者会	度数	322	356	52	138	61	929
		%	34.7%	38.3%	5.6%	14.9%	6.6%	100.0%
	モニター	度数	80	263	71	184	119	717
		%	11.2%	36.7%	9.9%	25.7%	16.6%	100.0%
合計		度数	402	619	123	322	180	1646
		%	24.4%	37.6%	7.5%	19.6%	10.9%	100.0%

			Q1_5(2) 不安_学校生活					合計
			大変不安	多少不安	中庸	不安殆無	不安全無	
ルート	患者会	度数	11	7	7	24	12	61
		%	18.0%	11.5%	11.5%	39.3%	19.7%	100.0%
	モニター	度数	13	35	31	70	68	217
		%	6.0%	16.1%	14.3%	32.3%	31.3%	100.0%
合計		度数	24	42	38	94	80	278
		%	8.6%	15.1%	13.7%	33.8%	28.8%	100.0%

			Q1_5(3) 不安_職業生活					合計
			大変不安	多少不安	中庸	不安殆無	不安全無	
ルート	患者会	度数	111	129	25	57	36	358
		%	31.0%	36.0%	7.0%	15.9%	10.1%	100.0%
	モニター	度数	71	168	65	130	108	542
		%	13.1%	31.0%	12.0%	24.0%	19.9%	100.0%
合計		度数	182	297	90	187	144	900
		%	20.2%	33.0%	10.0%	20.8%	16.0%	100.0%

【知見】

日常生活において、多くの不安が確認された。全体で6割を超える回答が多少なりとも不安を感じており、特に患者会では「大変不安」とする回答が顕著に多い。これは患者会の回答者に肝硬変、肝がんの割合が多いことと関係していると思われる。この傾向は、職業生活における不安にもみられる。この点を逆にとらえる場合、そもそも不安であるから患者会に入った、という考えもあり得る点に留意する必要がある。

また有効回答は少ないものの、学校生活における不安も同様である。こうした不安は回答者のバックグラウンドに大いに関連していると思われる。他方、不安を殆ど感じないか、全く感じないとした回答も一定数あり、個別状況の理解が必要である。いずれにせよ、他設問でも見られるが、治療法の確立は不安を除去する重要なファクターであると推察される。

【設問】

問 1-6 あなたは、**肝炎患者として**、下記の諸項目について不安を感じていますか。

(○はヨコの行にひとつずつ)

	大変不安を感じている	多少は不安を感じている	どちらともいえない	あまり不安を感じていない	全く不安を感じていない
1. 現在の体調	1	2	3	4	5
2. 病気の進行	1	2	3	4	5
3. 病院の医療体制	1	2	3	4	5
4. 主治医	1	2	3	4	5
5. 薬剤の副作用	1	2	3	4	5
6. 治療費	1	2	3	4	5

【集計表】

		Q1_6(1) 現在の体調					合計	
		大変不安	多少不安	中庸	不安殆無	不安全無		
ルート	患者会	度数	254	402	62	158	48	924
		%	27.5%	43.5%	6.7%	17.1%	5.2%	100.0%
モニター	度数	70	239	107	205	111	732	
	%	9.6%	32.7%	14.6%	28.0%	15.2%	100.0%	
合計		度数	324	641	169	363	159	1656
		%	19.6%	38.7%	10.2%	21.9%	9.6%	100.0%

		Q1_6(4) 主治医					合計	
		大変不安	多少不安	中庸	不安殆無	不安全無		
ルート	患者会	度数	64	183	170	315	181	913
		%	7.0%	20.0%	18.6%	34.5%	19.8%	100.0%
モニター	度数	31	95	170	263	173	732	
	%	4.2%	13.0%	23.2%	35.9%	23.6%	100.0%	
合計		度数	95	278	340	578	354	1645
		%	5.8%	16.9%	20.7%	35.1%	21.5%	100.0%

		Q1_6(2) 病気の進行					合計	
		大変不安	多少不安	中庸	不安殆無	不安全無		
ルート	患者会	度数	388	336	53	119	29	925
		%	41.9%	36.3%	5.7%	12.9%	3.1%	100.0%
モニター	度数	130	252	101	169	80	732	
	%	17.8%	34.4%	13.8%	23.1%	10.9%	100.0%	
合計		度数	518	588	154	288	109	1657
		%	31.3%	35.5%	9.3%	17.4%	6.6%	100.0%

		Q1_6(5) 薬剤副作用					合計	
		大変不安	多少不安	中庸	不安殆無	不安全無		
ルート	患者会	度数	228	240	90	217	109	884
		%	25.8%	27.1%	10.2%	24.5%	12.3%	100.0%
モニター	度数	93	153	164	166	156	732	
	%	12.7%	20.9%	22.4%	22.7%	21.3%	100.0%	
合計		度数	321	393	254	383	265	1616
		%	19.9%	24.3%	15.7%	23.7%	16.4%	100.0%

		Q1_6(3) 病院医療体制					合計	
		大変不安	多少不安	中庸	不安殆無	不安全無		
ルート	患者会	度数	106	250	198	257	94	905
		%	11.7%	27.6%	21.9%	28.4%	10.4%	100.0%
モニター	度数	57	145	179	226	125	732	
	%	7.8%	19.8%	24.5%	30.9%	17.1%	100.0%	
合計		度数	163	395	377	483	219	1637
		%	10.0%	24.1%	23.0%	29.5%	13.4%	100.0%

		Q1_6(6) 治療費					合計	
		大変不安	多少不安	中庸	不安殆無	不安全無		
ルート	患者会	度数	291	257	121	165	66	900
		%	32.3%	28.6%	13.4%	18.3%	7.3%	100.0%
モニター	度数	209	209	131	103	80	732	
	%	28.6%	28.6%	17.9%	14.1%	10.9%	100.0%	
合計		度数	500	466	252	268	146	1632
		%	30.6%	28.6%	15.4%	16.4%	8.9%	100.0%

【知見】

全体では体調や病気の進行、治療費への不安が強い。モニターより患者会の回答の方がほとんどのケースにおいて不安を多く感じているが、治療費については患者会、モニターで差があまりみられない。また病院の医療体制や主治医については評価が高く、不安は比較的弱い。薬剤の副作用では回答が分散しており、個別の状況によって判断が分かれていると思われる。

【設問】

問 1-7 あなたは「**肝炎患者であることを理由として**」、今までに下記のような経験をしたことがありますか。
(○はヨコの行にひとつずつ)

【集計表】

			Q1_7(1) 経験陰口				合計
			明確経験	曖昧経験	不経験	非該当	
ルート	患者会	度数	66	161	533	134	894
		%	7.4%	18.0%	59.6%	15.0%	100.0%
	モニター	度数	23	59	330	320	732
		%	3.1%	8.1%	45.1%	43.7%	100.0%
合計		度数	89	220	863	454	1626
		%	5.5%	13.5%	53.1%	27.9%	100.0%

			Q1_7(17) 経験保険				合計
			明確経験	曖昧経験	不経験	非該当	
ルート	患者会	度数	288	87	260	236	871
		%	33.1%	10.0%	29.9%	27.1%	100.0%
	モニター	度数	153	70	214	295	732
		%	20.9%	9.6%	29.2%	40.3%	100.0%
合計		度数	441	157	474	531	1603
		%	27.5%	9.8%	29.6%	33.1%	100.0%

【知見】

偏見差別経験では、ほぼ「陰口」と「保険」に集中する。まず「陰口」については、およそ 5.5%の回答が明確に経験し、同じく 13.5%の回答が曖昧ではあるが経験があるとする。特に患者会の数値が高く、患者会全体の約 4 分の 1 が経験有ということになる。他方、「保険」では、明確な経験が非常に多く、全体でも約 27.5%、患者会では 33.1%に上っている。がん保険などへの加入について他の疾患では加入が認められるものの、肝炎は不可など、疾病間の格差も指摘しなければならない。ちなみに、保険の加入段階では、B型、C型は区別されない。その他、生命保険への加入に際してもそのハードルは高い。

「陰口」と「保険」のこうしたあらわれはそれぞれその性質に基づくもので、前者は「陰口」であるということから不明確な経験が多く出ているものの、相当程度信用できる回答ではないかと考えられる。ただし、何が「陰口」か、という点については、自由回答を合わせて参照する必要がある。

【設問】

問 1-8 以下の質問にお答えください。

問 1-8-1 あなたは、**あなた自身に対し肝炎患者であることを理由として**、直接的あるいは間接的に、「侮辱的、侮蔑的な発言を受けた」ことがありますか。(○はひとつだけ)

1. ある →問 1-8-2 へ	2. ない →問 1-8-3 へ
---------------------	---------------------

問 1-8-3 あなたは、**あなた自身に対し肝炎患者であることを理由として**、直接的あるいは間接的に、「発言以外に精神的に傷つけられた」ことがありますか。(○はひとつだけ)

1. ある →問 1-8-4 へ	2. ない →問 1-9 へ
---------------------	-------------------

【集計表】

			Q1_8(1) 侮辱発言		合計
			侮辱発言 有	侮辱発言 無	
ルート	患者会	度数	199	738	937
		%	21.2%	78.8%	100.0%
	モニター	度数	93	639	732
		%	12.7%	87.3%	100.0%
合計		度数	292	1377	1669
		%	17.5%	82.5%	100.0%

			Q1_8(3) 侮辱行動		合計
			侮辱行動 有	侮辱行動 無	
ルート	患者会	度数	80	634	714
		%	11.2%	88.8%	100.0%
	モニター	度数	54	585	639
		%	8.5%	91.5%	100.0%
合計		度数	134	1219	1353
		%	9.9%	90.1%	100.0%

【知見】

侮辱的な発言や行動を受けたことがあるかということは、差別偏見経験についてやや間接的に問うものであるが、全体ではおよそ 17.5%が侮辱的な発言を、同じく 9.9%が侮辱的な行動をみとめている。患者会の方がモニターよりも多いが、特に侮辱的な発言経験は回答者の約 21.2%に上っている。

【設問】

問 1-9 あなたは**肝炎患者への偏見や差別の防止を目的とする**下記の諸活動に、積極的に関与していますか。
(○はヨコの行にひとつずつ)

	積極的に 関与している	経験はあるが 誘われれば 関与する程度	経験はあるが できるだけ 関わりたくない	経験はないが 関与したい	経験はなく 興味もない
1. 患者コミュニティへの参加	1	2	3	4	5
2. 患者団体主催の啓発活動等の イベントへの参加	1	2	3	4	5
3. 行政主催の啓発活動等の イベントへの参加	1	2	3	4	5
4. 行政機関等への要望	1	2	3	4	5
5. インタビューや取材	1	2	3	4	5
6. 偏見や差別に関する裁判活動 への参加	1	2	3	4	5

【集計表】

			Q1_9(1) 患者コミュニティ					合計
			積極関与	経験有受 身関与	経験有消 極関与	経験無積 極関与	経験無消 極関与	
ルート	患者会	度数	142	242	63	258	191	896
		%	15.8%	27.0%	7.0%	28.8%	21.3%	100.0%
モニター	度数	6	50	19	203	454	732	
		%	0.8%	6.8%	2.6%	27.7%	62.0%	100.0%
合計		度数	148	292	82	461	645	1628
		%	9.1%	17.9%	5.0%	28.3%	39.6%	100.0%

			Q1_9(4) 行政機関					合計
			積極関与	経験有受 身関与	経験有消 極関与	経験無積 極関与	経験無消 極関与	
ルート	患者会	度数	92	182	66	324	208	872
		%	10.6%	20.9%	7.6%	37.2%	23.9%	100.0%
モニター	度数	18	51	21	244	398	732	
		%	2.5%	7.0%	2.9%	33.3%	54.4%	100.0%
合計		度数	110	233	87	568	606	1604
		%	6.9%	14.5%	5.4%	35.4%	37.8%	100.0%

			Q1_9(2) 患者啓発					合計
			積極関与	経験有受 身関与	経験有消 極関与	経験無積 極関与	経験無消 極関与	
ルート	患者会	度数	133	238	60	259	198	888
		%	15.0%	26.8%	6.8%	29.2%	22.3%	100.0%
モニター	度数	9	46	19	184	474	732	
		%	1.2%	6.3%	2.6%	25.1%	64.8%	100.0%
合計		度数	142	284	79	443	672	1620
		%	8.8%	17.5%	4.9%	27.3%	41.5%	100.0%

			Q1_9(5) 取材活動					合計
			積極関与	経験有受 身関与	経験有消 極関与	経験無積 極関与	経験無消 極関与	
ルート	患者会	度数	32	107	97	226	400	862
		%	3.7%	12.4%	11.3%	26.2%	46.4%	100.0%
モニター	度数	12	38	26	174	482	732	
		%	1.6%	5.2%	3.6%	23.8%	65.8%	100.0%
合計		度数	44	145	123	400	882	1594
		%	2.8%	9.1%	7.7%	25.1%	56.3%	100.0%

			Q1_9(3) 行政啓発					合計
			積極関与	経験有受 身関与	経験有消 極関与	経験無積 極関与	経験無消 極関与	
ルート	患者会	度数	85	193	79	280	243	880
		%	9.7%	21.9%	9.0%	31.8%	27.6%	100.0%
モニター	度数	10	47	19	179	477	732	
		%	1.4%	6.4%	2.6%	24.5%	65.2%	100.0%
合計		度数	95	240	98	459	720	1612
		%	5.9%	14.9%	6.1%	28.5%	44.7%	100.0%

			Q1_9(6) 裁判活動					合計
			積極関与	経験有受 身関与	経験有消 極関与	経験無積 極関与	経験無消 極関与	
ルート	患者会	度数	28	108	84	288	352	860
		%	3.3%	12.6%	9.8%	33.5%	40.9%	100.0%
モニター	度数	11	32	20	172	497	732	
		%	1.5%	4.4%	2.7%	23.5%	67.9%	100.0%
合計		度数	39	140	104	460	849	1592
		%	2.4%	8.8%	6.5%	28.9%	53.3%	100.0%

【知見】

本問は、差別や偏見の防止に関わると思われる諸活動にどの程度関与した経験があるか、また経験がない場合、どの程度関与したいかを問うものである。問題はやや入り組んでいるが、回答は特徴的である。まず、患者コミュニティへの関わりでは当然ともいえるが患者会の積極姿勢が見られるものの、経験はあるが消極的ないし経験は無いとする回答も6割弱と高率になっている。他方、モニターでは消極的な姿勢が示されている。こうした傾向は個別啓発活動や行政啓発、行政機関、取材活動、裁判活動などで概ね同様である。患者会において、経験はあるものの受動的であったり、むしろ消極的になったりとする回答は特徴的である。また、経験がない場合、積極的な関わりより消極的な姿勢が鮮明になっており、特に取材や裁判には相当程度忌避感があることが示されている。患者会加入の有無によらず、情報提供はなされるべきで、より広範囲に及ぶ支援体制の確立が必要なものと思われる。

【設問】

問 1-10 あなたは肝炎に関し、下記の諸項目について積極的な情報収集を行っていますか。

(○はヨコの行にひとつずつ)

	積極的に 行っている	多少は 行っている	どちらとも いえない	ほとんど 行っていない	全く 行っていない
1. 治療法 (薬剤等を含む)	1	2	3	4	5
2. 病院	1	2	3	4	5
3. 医師	1	2	3	4	5
4. 公的医療保険制度	1	2	3	4	5
5. 医療費助成制度	1	2	3	4	5
6. 患者会等への参加	1	2	3	4	5
7. 関連した裁判	1	2	3	4	5

【集計表】

		Q1_10(1) 治療法					合計
ルート	患者会	行動積極	行動多少	中庸	行動殆無	行動全無	
	患者会	度数 493	342	45	42	13	935
	%	52.7%	36.6%	4.8%	4.5%	1.4%	100.0%
	モニター	度数 133	262	74	118	145	732
	%	18.2%	35.8%	10.3%	16.1%	19.6%	100.0%
合計		度数 626	604	119	160	158	1667
	%	37.6%	36.2%	7.1%	9.6%	9.5%	100.0%

		Q1_10(5) 医療費					合計
ルート	患者会	行動積極	行動多少	中庸	行動殆無	行動全無	
	患者会	度数 317	252	106	108	133	916
	%	34.6%	27.5%	11.6%	11.8%	14.5%	100.0%
	モニター	度数 109	179	96	115	233	732
	%	14.9%	24.5%	13.1%	15.7%	31.8%	100.0%
合計		度数 426	431	202	223	366	1648
	%	25.8%	26.2%	12.3%	13.5%	22.2%	100.0%

		Q1_10(2) 病院					合計
ルート	患者会	行動積極	行動多少	中庸	行動殆無	行動全無	
	患者会	度数 429	297	105	70	28	929
	%	46.2%	32.0%	11.3%	7.5%	3.0%	100.0%
	モニター	度数 138	223	118	127	126	732
	%	18.9%	30.5%	16.1%	17.3%	17.2%	100.0%
合計		度数 567	520	223	197	154	1661
	%	34.1%	31.3%	13.4%	11.9%	9.3%	100.0%

		Q1_10(6) 患者会					合計
ルート	患者会	行動積極	行動多少	中庸	行動殆無	行動全無	
	患者会	度数 212	284	85	158	200	939
	%	22.6%	30.2%	9.1%	16.8%	21.3%	100.0%
	モニター	度数 7	34	59	101	531	732
	%	1.0%	4.6%	8.1%	13.8%	72.5%	100.0%
合計		度数 219	318	144	259	731	1671
	%	13.1%	19.0%	8.6%	15.5%	43.7%	100.0%

		Q1_10(3) 医師					合計
ルート	患者会	行動積極	行動多少	中庸	行動殆無	行動全無	
	患者会	度数 415	299	119	71	31	935
	%	44.4%	32.0%	12.7%	7.6%	3.3%	100.0%
	モニター	度数 132	204	142	124	130	732
	%	18.0%	27.9%	19.4%	16.9%	17.8%	100.0%
合計		度数 547	503	261	195	161	1667
	%	32.8%	30.2%	15.7%	11.7%	9.7%	100.0%

		Q1_10(7) 関連裁判					合計
ルート	患者会	行動積極	行動多少	中庸	行動殆無	行動全無	
	患者会	度数 69	105	85	130	524	913
	%	7.6%	11.5%	9.3%	14.2%	57.4%	100.0%
	モニター	度数 16	30	59	85	542	732
	%	2.2%	4.1%	8.1%	11.6%	74.0%	100.0%
合計		度数 85	135	144	215	1066	1645
	%	5.2%	8.2%	8.8%	13.1%	64.8%	100.0%

		Q1_10(4) 医療保険					合計
ルート	患者会	行動積極	行動多少	中庸	行動殆無	行動全無	
	患者会	度数 288	261	118	115	120	902
	%	31.9%	28.9%	13.1%	12.7%	13.3%	100.0%
	モニター	度数 83	169	140	124	216	732
	%	11.3%	23.1%	19.1%	16.9%	29.5%	100.0%
合計		度数 371	430	258	239	336	1634
	%	22.7%	26.3%	15.8%	14.6%	20.6%	100.0%

【知見】

情報収集は、どの程度行なわれているのであろうか。治療法、病院、医師、医療保険、医療費、患者会、関連裁判について訊ねている。前3者については治療全般に関わるということもあり、6割から7割の回答が行動をとっているとしている。しかし、この傾向は医療費、患者会になると緩やかになり、患者会に関する情報収集では43.7%の回答が行動を全くとっていないとする。モニターでこの項目に対する回答が高率になることは比較的理解されやすいとしても、患者会回答でもおよそ4割の回答が消極的な姿勢である点も見逃せない。裁判について全体的に行動は消極的であるものの、ここではむしろ一定程度の積極性を評価すべきであろう。なお全体を通じ、患者会の方が行動に積極的であることがわかる。

【設問】

問 1-11 あなたは**肝炎患者として**、下記のことにおいて、障害ないし負担を感じますか。

(○はヨコの行にひとつずつ)

	大いに 感じる	多少は 感じる	ほとんど 感じない	全く 感じない	あては まらない
1. 肝炎治療のために病院に行くこと	1	2	3	4	5
2. 肝炎以外の病気・怪我で病院に行くこと	1	2	3	4	5
3. 健康診断を受けること	1	2	3	4	5
4. キスをする事	1	2	3	4	5
5. 性行為を行うこと	1	2	3	4	5
6. 肝炎であることを知っている友人と会食すること	1	2	3	4	5
7. 肝炎であることを知らない友人と会食すること	1	2	3	4	5
8. 不特定多数の人がいる温泉や公衆浴場へ行くこと	1	2	3	4	5
9. テレビや新聞で肝炎差別に関する報道を見ること	1	2	3	4	5
10. 家族・親族との日常生活	1	2	3	4	5

【集計表】

		Q1_11(1) 肝炎病院					合計
		大いに感 じる	多少は感 じる	ほとん ど感じ ない	全く感 じない	非該当	
ルート	患者会	度数 343	330	143	105	32	953
	%	36.6%	34.6%	15.0%	11.0%	3.4%	100.0%
モニター	度数	135	293	135	120	49	732
	%	18.4%	40.0%	18.4%	16.4%	6.7%	100.0%
合計	度数	478	623	278	225	81	1685
	%	28.4%	37.0%	16.5%	13.4%	4.8%	100.0%

		Q1_11(5) 性交					合計
		大いに感 じる	多少は感 じる	ほとん ど感じ ない	全く感 じない	非該当	
ルート	患者会	度数 79	111	155	169	389	903
	%	8.7%	12.3%	17.2%	18.7%	43.1%	100.0%
モニター	度数	68	125	181	226	132	732
	%	9.3%	17.1%	24.7%	30.9%	18.0%	100.0%
合計	度数	147	236	336	395	521	1635
	%	9.0%	14.4%	20.6%	24.2%	31.9%	100.0%

		Q1_11(2) 肝炎外病院					合計
		大いに感 じる	多少は感 じる	ほとん ど感じ ない	全く感 じない	非該当	
ルート	患者会	度数 223	362	191	134	27	937
	%	23.8%	38.6%	20.4%	14.3%	2.9%	100.0%
モニター	度数	73	222	208	178	51	732
	%	10.0%	30.3%	28.4%	24.3%	7.0%	100.0%
合計	度数	296	584	399	312	78	1669
	%	17.7%	35.0%	23.9%	18.7%	4.7%	100.0%

		Q1_11(9) 報道鑑賞					合計
		大いに感 じる	多少は感 じる	ほとん ど感じ ない	全く感 じない	非該当	
ルート	患者会	度数 234	258	176	224	49	941
	%	24.9%	27.4%	18.7%	23.8%	5.2%	100.0%
モニター	度数	54	158	191	249	80	732
	%	7.4%	21.6%	26.1%	34.0%	10.9%	100.0%
合計	度数	288	416	367	473	129	1673
	%	17.2%	24.9%	21.9%	28.3%	7.7%	100.0%

		Q1_11(3) 健康診断					合計
		大いに感 じる	多少は感 じる	ほとん ど感じ ない	全く感 じない	非該当	
ルート	患者会	度数 174	278	263	163	51	929
	%	18.7%	29.9%	28.3%	17.5%	5.5%	100.0%
モニター	度数	74	197	212	194	55	732
	%	10.1%	26.9%	29.0%	26.5%	7.5%	100.0%
合計	度数	248	475	475	357	106	1661
	%	14.9%	28.6%	28.6%	21.5%	6.4%	100.0%

		Q1_11(10) 日常生活					合計
		大いに感 じる	多少は感 じる	ほとん ど感じ ない	全く感 じない	非該当	
ルート	患者会	度数 59	146	264	402	72	943
	%	6.3%	15.5%	28.0%	42.6%	7.6%	100.0%
モニター	度数	18	74	199	345	96	732
	%	2.5%	10.1%	27.2%	47.1%	13.1%	100.0%
合計	度数	77	220	463	747	168	1675
	%	4.6%	13.1%	27.6%	44.6%	10.0%	100.0%

【知見】

差別偏見意識を感じるか否かについては、病院関連と生活関連に分けることができる。まず前者では、肝炎で病院に行くことについて相当程度の回答を感じるしており、顕著な特徴を示している。また、肝炎外であってもこうした意識を感じることは大いにあるという意見が目立つ。健康診断に関する意識では回答は分かれており、一概に特定できない。これら3つについては、モニターで感じないとする意見が多く提示されている。健康診断では、結果により再認識を余儀なくされる点や「再検査」の抑圧性などを踏まえ、問診票、採血など一連の流れを合わせ、より慎重な取り扱いが望まれる。また後者、生活関連では、全般的に高くないといえるものの、たとえば性交では4分の1弱が、報道鑑賞では4割強が差別偏見意識を感じると回答している。ただし個別に見ていくと回答構造はことになっており、性交についてはモニターで、報道鑑賞では患者会で、それぞれ感じるとする傾向が強い。日常生活では全く感じないとする意見が多く、特徴的である。本表には明らかではないが、高齢者の場合、通院自体が障害である可能性もある。

【設問】

問 1-13 あなたは下記の場所において、**肝炎患者であることを理由として**、偏見や差別を感じたことがありますか。(〇はヨコの行にひとつずつ)

【集計表】

			Q1_13(1) 病院医院				合計
			明確実感	曖昧実感	実感無	非該当	
ルート	患者会	度数	105	169	604	48	926
		%	11.3%	18.3%	65.2%	5.2%	100.0%
モニター	患者会	度数	39	81	499	113	732
		%	5.3%	11.1%	68.2%	15.4%	100.0%
合計		度数	144	250	1103	161	1658
		%	8.7%	15.1%	66.5%	9.7%	100.0%

			Q1_13(11) 宿泊施設				合計
			明確実感	曖昧実感	実感無	非該当	
ルート	患者会	度数	6	10	668	222	906
		%	.7%	1.1%	73.7%	24.5%	100.0%
モニター	患者会	度数	5	10	522	195	732
		%	.7%	1.4%	71.3%	26.6%	100.0%
合計		度数	11	20	1190	417	1638
		%	.7%	1.2%	72.6%	25.5%	100.0%

			Q1_13(2) 歯科医院				合計
			明確実感	曖昧実感	実感無	非該当	
ルート	患者会	度数	190	219	445	82	936
		%	20.2%	23.4%	47.5%	8.8%	100.0%
モニター	患者会	度数	63	103	442	124	732
		%	8.6%	14.1%	60.4%	16.9%	100.0%
合計		度数	253	322	887	206	1668
		%	15.2%	19.3%	53.2%	12.4%	100.0%

			Q1_13(12) 理髪店・美容院				合計
			明確実感	曖昧実感	実感無	非該当	
ルート	患者会	度数	8	57	661	189	915
		%	.9%	6.2%	72.2%	20.7%	100.0%
モニター	患者会	度数	4	24	514	190	732
		%	.5%	3.3%	70.2%	26.0%	100.0%
合計		度数	12	81	1175	379	1647
		%	.7%	4.9%	71.3%	23.0%	100.0%

			Q1_13(8) 地域コミュニティ				合計
			明確実感	曖昧実感	実感無	非該当	
ルート	患者会	度数	18	44	553	278	893
		%	2.0%	4.9%	61.9%	31.1%	100.0%
モニター	患者会	度数	3	15	436	278	732
		%	.4%	2.0%	59.6%	38.0%	100.0%
合計		度数	21	59	989	556	1625
		%	1.3%	3.6%	60.9%	34.2%	100.0%

			Q1_13(14) 温泉・公衆浴場				合計
			明確実感	曖昧実感	実感無	非該当	
ルート	患者会	度数	4	23	664	221	912
		%	.4%	2.5%	72.8%	24.2%	100.0%
モニター	患者会	度数	3	12	517	200	732
		%	.4%	1.6%	70.6%	27.3%	100.0%
合計		度数	7	35	1181	421	1644
		%	.4%	2.1%	71.8%	25.6%	100.0%

			Q1_13(10) 飲食店				合計
			明確実感	曖昧実感	実感無	非該当	
ルート	患者会	度数	4	12	662	225	903
		%	.4%	1.3%	73.3%	24.9%	100.0%
モニター	患者会	度数	5	7	531	189	732
		%	.7%	1.0%	72.5%	25.8%	100.0%
合計		度数	9	19	1193	414	1635
		%	.6%	1.2%	73.0%	25.3%	100.0%

			Q1_13(15) 交通機関				合計
			明確実感	曖昧実感	実感無	非該当	
ルート	患者会	度数	2	5	687	216	910
		%	.2%	.5%	75.5%	23.7%	100.0%
モニター	患者会	度数	2	8	525	197	732
		%	.3%	1.1%	71.7%	26.9%	100.0%
合計		度数	4	13	1212	413	1642
		%	.2%	.8%	73.8%	25.2%	100.0%

【知見】

差別偏見を受けた実際の場所について訊ねているが、全般的に経験はそれほど多くない。しかし、病院ないし医院、歯科医院については相当数経験が見られる。特に歯科医院における経験が際立って多い。他方、上で提示した地域コミュニティ、飲食店、宿泊施設、理髪店・美容院、温泉・公衆浴場、交通機関などでは、実感がないか、非該当とする回答が大半であった。本問については、経験と不経験を単純に比較することは相当ではなく、回答が少ない項目についても、経験の1つ1つを詳細に見ていく必要がある。

【設問】

問 2-1 あなたは以下の諸項目が、**肝炎患者に対する偏見や差別の解消のために**、どのくらい効果的であると思いますか。(○はヨコの行にひとつずつ)

【集計表】

			Q2_1(1) 国自治体					合計
			効果大	効果多少	中庸	効果殆無	効果全無	
ルート	患者会	度数	391	337	110	58	16	912
		%	42.9%	37.0%	12.1%	6.4%	1.8%	100.0%
	モニター	度数	89	270	202	117	54	732
		%	12.2%	36.9%	27.6%	16.0%	7.4%	100.0%
合計		度数	480	607	312	175	70	1644
		%	29.2%	36.9%	19.0%	10.6%	4.3%	100.0%

			Q2_1(6) 患者啓発					合計
			効果大	効果多少	中庸	効果殆無	効果全無	
ルート	患者会	度数	126	271	269	160	46	872
		%	14.4%	31.1%	30.8%	18.3%	5.3%	100.0%
	モニター	度数	44	189	285	149	65	732
		%	6.0%	25.8%	38.9%	20.4%	8.9%	100.0%
合計		度数	170	460	554	309	111	1604
		%	10.6%	28.7%	34.5%	19.3%	6.9%	100.0%

			Q2_1(2) 法罰則有					合計
			効果大	効果多少	中庸	効果殆無	効果全無	
ルート	患者会	度数	133	223	277	158	82	873
		%	15.2%	25.5%	31.7%	18.1%	9.4%	100.0%
	モニター	度数	36	146	251	180	119	732
		%	4.9%	19.9%	34.3%	24.6%	16.3%	100.0%
合計		度数	169	369	528	338	201	1605
		%	10.5%	23.0%	32.9%	21.1%	12.5%	100.0%

			Q2_1(7) 行政機関					合計
			効果大	効果多少	中庸	効果殆無	効果全無	
ルート	患者会	度数	321	320	163	51	30	885
		%	36.3%	36.2%	18.4%	5.8%	3.4%	100.0%
	モニター	度数	71	268	228	107	58	732
		%	9.7%	36.6%	31.1%	14.6%	7.9%	100.0%
合計		度数	392	588	391	158	88	1617
		%	24.2%	36.4%	24.2%	9.8%	5.4%	100.0%

			Q2_1(3) 法罰則無					合計
			効果大	効果多少	中庸	効果殆無	効果全無	
ルート	患者会	度数	218	177	275	127	72	869
		%	25.1%	20.4%	31.6%	14.6%	8.3%	100.0%
	モニター	度数	98	187	238	130	79	732
		%	13.4%	25.5%	32.5%	17.8%	10.8%	100.0%
合計		度数	316	364	513	257	151	1601
		%	19.7%	22.7%	32.0%	16.1%	9.4%	100.0%

			Q2_1(8) 法律相談					合計
			効果大	効果多少	中庸	効果殆無	効果全無	
ルート	患者会	度数	165	271	289	93	44	862
		%	19.1%	31.4%	33.5%	10.8%	5.1%	100.0%
	モニター	度数	44	210	276	131	71	732
		%	6.0%	28.7%	37.7%	17.9%	9.7%	100.0%
合計		度数	209	481	565	224	115	1594
		%	13.1%	30.2%	35.4%	14.1%	7.2%	100.0%

			Q2_1(4) 判例蓄積					合計
			効果大	効果多少	中庸	効果殆無	効果全無	
ルート	患者会	度数	263	284	198	74	43	862
		%	30.5%	32.9%	23.0%	8.6%	5.0%	100.0%
	モニター	度数	86	229	258	93	66	732
		%	11.7%	31.3%	35.2%	12.7%	9.0%	100.0%
合計		度数	349	513	456	167	109	1594
		%	21.9%	32.2%	28.6%	10.5%	6.8%	100.0%

			Q2_1(9) 学校教育					合計
			効果大	効果多少	中庸	効果殆無	効果全無	
ルート	患者会	度数	353	292	147	51	43	886
		%	39.8%	33.0%	16.6%	5.8%	4.9%	100.0%
	モニター	度数	139	269	196	72	56	732
		%	19.0%	36.7%	26.8%	9.8%	7.7%	100.0%
合計		度数	492	561	343	123	99	1618
		%	30.4%	34.7%	21.2%	7.6%	6.1%	100.0%

			Q2_1(5) 患者啓発					合計
			効果大	効果多少	中庸	効果殆無	効果全無	
ルート	患者会	度数	309	359	155	40	22	885
		%	34.9%	40.6%	17.5%	4.5%	2.5%	100.0%
	モニター	度数	67	300	226	85	54	732
		%	9.2%	41.0%	30.9%	11.6%	7.4%	100.0%
合計		度数	376	659	381	125	76	1617
		%	23.3%	40.8%	23.6%	7.7%	4.7%	100.0%

			Q2_1(10) 職場啓発					合計
			効果大	効果多少	中庸	効果殆無	効果全無	
ルート	患者会	度数	241	288	231	73	42	875
		%	27.5%	32.9%	26.4%	8.3%	4.8%	100.0%
	モニター	度数	76	247	243	100	66	732
		%	10.4%	33.7%	33.2%	13.7%	9.0%	100.0%
合計		度数	317	535	474	173	108	1607
		%	19.7%	33.3%	29.5%	10.8%	6.7%	100.0%

【知見】

全般的には効果のみとめる回答が多いが、なかでも国や自治体、行政機関、学校教育などへの期待が強い。しかし、ルート別ではかなり異なった回答構造となっている。すなわち、患者会では高い評価を得ている項目であっても、モニターではそれほど期待されていないか、ほとんどその効果のみとめていない。患者団体や患者個人による啓発活動について強い差異が出ることは母集団構造の違いから理解されるとしても、他諸項目についても同傾向にあることは注目すべきであろう。

他方、学校教育については、若干の温度差はあるものの、モニターでも相当程度期待感がある。また、法罰則の有無、判例の蓄積、法律相談など諸項目への回答は、情報量の違いによって差異があらわれる可能性もあり、定期的に情報が提供される患者会に比べ、モニターにおいてはどの程度の情報が共有されているか、考慮する必要がある。

【設問】

問 2-2 あなたは、どのような理由で**肝炎患者に対する偏見や差別**が生じるとお考えですか。(○はヨコの行にひとつずつ)

【集計表】

			Q2_2(1) 単感染					合計
			該当大	該当多少	中庸	該当殆無	該当全無	
ルート	患者会	度数	423	321	86	58	30	918
		%	46.1%	35.0%	9.4%	6.3%	3.3%	100.0%
モニター	患者会	度数	173	297	137	62	63	732
		%	23.6%	40.6%	18.7%	8.5%	8.6%	100.0%
合計		度数	596	618	223	120	93	1650
		%	36.1%	37.5%	13.5%	7.3%	5.6%	100.0%

			Q2_2(2) 性感染症					合計
			該当大	該当多少	中庸	該当殆無	該当全無	
ルート	患者会	度数	282	311	157	87	62	899
		%	31.4%	34.6%	17.5%	9.7%	6.9%	100.0%
モニター	患者会	度数	157	232	174	94	75	732
		%	21.4%	31.7%	23.8%	12.8%	10.2%	100.0%
合計		度数	439	543	331	181	137	1631
		%	26.9%	33.3%	20.3%	11.1%	8.4%	100.0%

			Q2_2(3) 治療困難					合計
			該当大	該当多少	中庸	該当殆無	該当全無	
ルート	患者会	度数	326	337	132	71	30	896
		%	36.4%	37.6%	14.7%	7.9%	3.3%	100.0%
モニター	患者会	度数	133	287	185	68	59	732
		%	18.2%	39.2%	25.3%	9.3%	8.1%	100.0%
合計		度数	459	624	317	139	89	1628
		%	28.2%	38.3%	19.5%	8.5%	5.5%	100.0%

			Q2_2(4) 生活態度					合計
			該当大	該当多少	中庸	該当殆無	該当全無	
ルート	患者会	度数	142	212	249	174	121	898
		%	15.8%	23.6%	27.7%	19.4%	13.5%	100.0%
モニター	患者会	度数	81	165	241	148	97	732
		%	11.1%	22.5%	32.9%	20.2%	13.3%	100.0%
合計		度数	223	377	490	322	218	1630
		%	13.7%	23.1%	30.1%	19.8%	13.4%	100.0%

			Q2_2(5) 組織理解					合計
			該当大	該当多少	中庸	該当殆無	該当全無	
ルート	患者会	度数	285	283	161	81	81	891
		%	32.0%	31.8%	18.1%	9.1%	9.1%	100.0%
モニター	患者会	度数	121	235	219	83	74	732
		%	16.5%	32.1%	29.9%	11.3%	10.1%	100.0%
合計		度数	406	518	380	164	155	1623
		%	25.0%	31.9%	23.4%	10.1%	9.6%	100.0%

			Q2_2(6) 日本社会					合計
			該当大	該当多少	中庸	該当殆無	該当全無	
ルート	患者会	度数	233	298	229	92	52	904
		%	25.8%	33.0%	25.3%	10.2%	5.8%	100.0%
モニター	患者会	度数	113	219	239	88	73	732
		%	15.4%	29.9%	32.7%	12.0%	10.0%	100.0%
合計		度数	346	517	468	180	125	1636
		%	21.1%	31.6%	28.6%	11.0%	7.6%	100.0%

			Q2_2(7) 誤解報道					合計
			該当大	該当多少	中庸	該当殆無	該当全無	
ルート	患者会	度数	147	253	312	131	53	896
		%	16.4%	28.2%	34.8%	14.6%	5.9%	100.0%
モニター	患者会	度数	93	184	284	106	65	732
		%	12.7%	25.1%	38.8%	14.5%	8.9%	100.0%
合計		度数	240	437	596	237	118	1628
		%	14.7%	26.8%	36.6%	14.6%	7.2%	100.0%

			Q2_2(8) 誤解教育					合計
			該当大	該当多少	中庸	該当殆無	該当全無	
ルート	患者会	度数	97	199	355	165	65	881
		%	11.0%	22.6%	40.3%	18.7%	7.4%	100.0%
モニター	患者会	度数	67	127	341	121	76	732
		%	9.2%	17.3%	46.6%	16.5%	10.4%	100.0%
合計		度数	164	326	696	286	141	1613
		%	10.2%	20.2%	43.1%	17.7%	8.7%	100.0%

【知見】

全体的には、感染のしやすさや性感染症のイメージ、治療の困難性に求める見解が強いが、これは主として患者会に多く見られることが分かる。また患者会ではモニターに比べ、上記3つの理由のほかに、組織理解の問題、日本社会の差別的傾向、誤解を生む報道などの存在に、強い反応が示されている。他方、モニターは全般的に穏やかな回答傾向にある。